



世田谷少年サッカー連盟 8人制大会における統一競技会規定

Rev:Z603Z5

本規定は世田谷少年サッカー連盟のすべての公式戦に適用する。

(都大会の予選を兼ねない試合では適用を一部緩和することがある)

(以下「世田谷の8人制統一ルール」と略称)。

以下の項目を除き、国際サッカー評議会 (I F A B) および日本協会競技規則に従って実施される。

●競技のフィールド

- ・ 大きさ
- ・ 68m×50m を推奨するが、使用する試合会場の大きさによって、変更することも可能とする。
- ・ フィールドのマーク等・ペナルティーエリアの縦 12m
 - * ゴールエリアの縦 4m
 - * ペナルティーマーク (ゴールラインから) 8m
 - * ペナルティーアークの半径 7m
 - * センターサークルの半径 7m
 - * 交代ゾーン 6m (ハーフウェイラインから両サイドへ 3m ずつ)

●ゴール少年用サッカーゴール (5m×2.15m) を推奨する。

●ボール 4 号球を使用する。

●競技者の数

- ・ 8 人の競技者 (うち 1 人はゴールキーパー) が試合に出場する。
- ・ 前半開始時に 6 人で試合成立。 **6人未満は試合を開始しない。**
退場者が出た場合は交代要員の中から競技者を補充できる。
- ・ フィールドプレーヤーの交代手続
 - * 交代によって退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - * 交代要員は、交代によって退く競技者がフィールドの外に出てから、交代ゾーンからフィールドに入る。
 - * 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行える。
 - * 交代について、主審の承認を得る必要はない。
 - * 交代によって退いた競技者が、正しい交代手続を経たうえで、再び競技者としてフィールドに戻ることを認める。
- ・ ゴールキーパーの交代手続
 - * ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し主審の承認を得てから交代手続を始める。
 - * 交代して退くゴールキーパーは、主審の承認を得て、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なくてはならない。

*交代要員のゴールキーパーは、主審の承認を得たのち、ハーフウェイラインのところからフィールドに入る。

*ゴールキーパーとフィールドプレーヤーが交代する場合も、ボールがアウトオブプレーになった時、主審の承認を得たうえで交代する。

●競技者の用具

・ユニフォームは、原則として、日本サッカー協会ユニフォーム規程に準じる。

1 着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。

（ユニフォームは2 着以上の持参が望ましい。また、ユニフォームの色彩と異なる色のビブスを必ず持参すること。）

*ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、大会主管者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。

*ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。

（シャツはビブスの代用も可、その場合フィールドプレーヤーとは異なる色のビブスにする）

*主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

その場合、主審は両チームの各2 組のユニフォームのうちからシャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

また、1 着のユニフォーム持参の場合、主審はいずれのチームが同色のビブスを着用することを決定する。

*ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

*アンダーシャツ及びアンダーショーツ、タイツの色は問わない。

ただしチーム内で同色のものを着用する。

*すねあては必ず着用する。

※中央大会（都大会）の規定は異なるので参加クラブは都度確認して対応すること。

●審判 「審判員規程 および 基本マニュアル」を参照

●試合時間

・各大会要項に記載されている試合時間に従う。

・アディショナルタイムはけがの治療と飲水タイム、クーリングブレイクのみを対象とする。

●プレーの開始および再開

・キックオフから直接相手のゴールに入った場合、得点を認めず、相手チームのゴールキックで再開される。

- ・フリーキックの場合、ボールがインプレーになるまで、相手競技者は、ボールから7m以上離れる。
- ・スローインの場合、相手競技者は、スローインが行われる地点から2m以上ボールから離れる。
- ・ドロップボールの場合は、ドロップボールを行う競技者以外はボールがインプレーになるまで4m以上ボールから離れる。
- ・コーナーキックの場合、インプレーになるまで、相手競技者は、コーナーアークから7m以上離れる。

●ファウルと不正行為

- ・競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームはフィールドでプレーする競技者を交代要員の中から直ちに補充できる。
- ・退場を命じられた競技者、累積警告が3回となった競技者は、次の1試合を出場停止処分とする。

●前、後半が終了したものの、両チームの得点と同じ、もしくは両チームとも無得点となりながらも、勝者を決定する必要がある場合の延長戦およびペナルティーマークからのキック（以下PK戦）

- ・各トーナメントの決勝および3位決定戦では、10分間（前、後半それぞれ5分）の延長戦を行う。
延長戦でも勝敗を決しない場合はPK戦を行う。
- ・決勝および3位決定戦以外の試合では、後半終了後すぐにPK戦を行う。
延長戦は行わない。
- ・PK戦では、両チーム3本ずつのキックを行った後、両チームの得点と同じ、もしくは両チームとも無得点の場合、サドンデスにより勝敗を決する。

●ベンチ入り指導者

- ・テクニカルエリアは設置しないが、その都度、ひとりの指導者が戦術的指示を行う。
- ・都大会のブロック予選に相当する大会では常に2名以上いること。
またそのうちD級以上の有資格者が**2名以上**（都大会は全員の有資格者）いること。
最大ベンチ入り指導者は3名とする。（都大会は最大5名）
ベンチ入りの内1名はメディカルが入る事が出来るが、ベンチでの指導は出来ない。
有資格者が**2名そろっていない場合**は、資格者不在の手続きを行なう。
- ・世田谷区の大会でも常に2名以上いること。
またそのうちD級以上の有資格者が1名以上いること。
最大ベンチ入り指導者は3名とする。
ベンチ入りの内1名はメディカルが入る事が出来るが、ベンチでの指導は出来ない。
有資格者が**1名いない場合**は、資格者不在の手続きを行なう。

●その他

- ・ユニフォームチェックや選手集合時間に遅れた選手はメンバー表に氏名の記載があれば、第4の審判員による用具の確認を経て出場を認める。